

平成16年12月24日

各 位

会 社 名 株式会社サンオータス
 代表取締役社長 北 野 俊
 コード番号 7623
 問い合わせ先 取締役管理本部長
 古川 晴 男
 TEL(045)473-1211 (代表)

平成17年4月期中間（連結・単独）業績予想との差異に関するお知らせ

平成17年4月期(平成16年5月1日～平成17年4月30日)の業績予想について、平成16年6月29日付当社「平成16年4月期決算短信（連結）」及び同日付当社「平成16年4月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成17年4月期連結業績予想の修正等

(1) 中間期(平成16年5月1日～平成16年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年6月29日発表)	11,800百万円	130百万円	70百万円
今回修正(B)	12,416百万円	244百万円	119百万円
増減額(B-A)	616百万円	114百万円	49百万円
増 減 率	5.2%	87.7%	70.0%

(2) 修正理由

売上高につきましては、カーライフサポート事業における燃料油販売で夏期の記録的な猛暑によるカーエアコン需要の増加等により販売数量が大幅に増加したことに加え、レンタカー事業においても積極的な店舗展開、台数・稼働率の増加により計画を上回りました。

カービジネス事業では新車種の投入減の影響もあり計画を下回ったものの、グループ全体では目標比5.2%増の12,416百万円となりました。

経常利益につきましては、連結対象子会社を含めたカービジネス事業では新車販売の計画未達成による利益の伸び悩みがあったものの、カーライフサポート事業で夏以降は石油市況の高騰の影響を受けた中でも、販売価格が安定していたことで業績改善につなげることが出来ました。またレンタカー事業の増益も寄与し、この結果経常利益は244百万円（当初予想比：114百万円の増加）となりました。

当期純利益につきましては、上記の理由により119百万円（当初予想比：49百万円の増加）となりました。

(3) 通期(平成16年5月1日～平成17年4月30日)業績予想について

通期の見通しにつきましては、夏以降の米国経済の成長鈍化などを受けて輸出と設備投資の伸びがやや鈍り、原油価格の高止まりも景気のリスク要因となり不透明感が広がっておりあ

ります。個人消費も雇用・所得環境の大幅な改善が期待できない中、家計の税・社会保障費負担が増すことから回復は緩やかにとどまるものと予想されます。

国内の石油製品需要につきましては、原油価格の高どまりの状況が続き、主要燃料油の価格動向は予断を許しません。当社グループSSにおいては採算販売を重視し、適正な販売価格を維持しており業績は安定的に推移しております。しかしながら自動車販売業界は国産車、輸入車を含めて環境は依然厳しい状況が続いております。

以上より下期の経営環境については上期に比べ不透明な状況下にあることを勘案し、平成16年6月29日に発表しております平成17年4月期の業績見通しについては変更はありません。

しかしながら、当社グループとしては、下期もお客様に満足して頂けるようサービス内容の充実に努めるとともに地域社会及び環境と共生を図りつつ当社グループの経営資源を活用する事で魅力的な成長性と収益性ある企業をめざします。

また今後の業績予想につきましては、変動が判明次第公表させていただきます。

ご参考：通期業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (平成16年6月29日発表)	25,700百万円	450百万円	220百万円

(4) ご参考：前期の実績(平成15年5月1日～平成16年4月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(5月1日～10月31日)	11,578百万円	134百万円	64百万円
通期(5月1日～4月30日)	23,536百万円	430百万円	205百万円

2.平成17年4月期単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成16年5月1日～平成16年10月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年6月29日発表)	8,700百万円	100百万円	55百万円
今回修正(B)	8,928百万円	254百万円	133百万円
増減額(B-A)	228百万円	154百万円	78百万円
増減率	2.6%	154.0%	141.8%

(2) 修正理由

売上高につきましては、カーライフサポート事業は、連結・単独ともに事業内容が同一であり、修正理由、修正額は連結業績と同じ内容であります。

カービジネス事業は、フォード横浜が堅調に推移した結果、単独の売上高は8,928百万円と当初予想比2.6%の増加となりました。

経常利益につきましては、カービジネス事業部門での業績好調とフォード横浜での堅調な推移により254百万円(当初予想比：154百万円の増加)となりました。

当期純利益につきましては、上記の理由により133百万円(当初予想比：78百万円の増加)となりました。

(3) 通期(平成16年5月1日～平成17年4月30日)の業績予想について

通期の見通しにつきましては、連結同様に、下期の経営環境が中間期に比べ不透明な状況

下にあることを勘案し、平成16年6月29日に発表しております平成17年4月期の業績見通しについて変更はありません。

また今後の業績予想につきましては、変動が判明次第公表させていただきます。

ご参考：通期業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (平成16年6月29日発表)	18,000百万円	370百万円	180百万円

(4)ご参考：前期の実績(平成15年5月1日～平成16年4月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期(5月1日～10月31日)	8,748百万円	107百万円	42百万円
通期(5月1日～4月30日)	17,160百万円	343百万円	127百万円

3. 配当について

期末配当金につきましては、当初予定どおり1株あたり15円を実施予定です。

以上